

# 校内研修計画

甲州市立大和小学校

## 1 学校課題

大和地区は自然に恵まれており、周囲を山に囲まれた静かな地域である。地域の中央を高速道路が走り、幹線道路も交通量が増加し春や秋など観光客が多数訪れ、賑わいを見せる。大和町は武田家終焉の地としても知られており、多くの史跡が点在する古い歴史を持つ町である。

本校は、児童数が少ないため人間関係も固定されがちであり、多様な意見や価値観に触れる機会が少ない。決まったことや指示されたことに一生懸命に取り組むことはできるものの受け身になりがちで、自ら考え、主体的に取り組もうとする姿勢は十分だとは言えない。また、学校を離れ地域に帰ると、同年代がほとんどいない状態となる児童も多い。そのためか、人との関わり方や円滑なコミュニケーションがとれない児童も見られる。そこで、様々な機会を捉え、児童会の集会活動での縦割り活動や低中高学年の合同体育などを通して、人間関係を築く能力や社会性を育み、異年齢集団の中で友に助け合うことができる環境作りを進めている。

## 2 研究主題 「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」

～ 伝え合い交流する ～

## 3 主題設定の理由

本校では、各教科等において「伝え合い交流する」場面を設定し、言語活動の充実を図る中で、思考力や表現力の向上を目指し、研究を進めてきた。特に、昨年度は、伝え合い交流する手立てを考え、授業作りを行った。ホワイトボードを使ったり、ワークシートを使ったり、それぞれの授業で工夫しながら、意見の交流をはかる事ができた。しかし、児童が意見を言うことに意識をおいてしまい、聞くことが十分にできていないため、交流することが十分にできていない。「伝え合い交流する」ところを、より充実させるための手立てを工夫していくことで、学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成につなげていきたい。

また、お互いに認め合い意欲的に学びあえる学習集団をつくるために2回のQ-Uアンケートの結果を分析し、児童理解を進めたり、学習規律の定着をみるためにアンケートの実施行ったりした。それらの結果から、課題を持つ子に適切な関わりを持ったり、見つかった課題に早急に対応することができたり、学習規律の中で不十分であるところがあったり、成果や課題が明らかになった。そこで今年度も引き続き、より良い学級集団をつくるために、Q-Uの結果を活用し、学習規律を定着させていくために、継続的に指導していくこととする。

さらに、家庭と連携した学習環境作りを進めるために、家庭学習のアンケートを実施したり、学年部会等で話し合いを持ったりした。家庭学習については、毎日するものだという意識が定着してきている。今年度は、自主学習の内容や意欲など個人差への対応など、さらに研究を深めていきたい。

自分の考えを持ち、意見交換を通じて考えを深めることができる子ども

高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えの根拠や理由等を論理的に表現することができる。</li> <li>• 自分の考えと友達の意見の違いをとらえ、お互いの立場や意図をはっきりさせながら、話し合うことができる。</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えを説明するときには、意見と根拠、原因と結果など明らかにすることができる。</li> <li>• 友達の意見を聞き、共通点や相違点を整理し、話し合うことができる。</li> </ul>
低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えを持ち、どうしてそう考えたのか理由を説明できる。</li> <li>• 友達の意見を最後まで聞き、いろいろな意見があることに気付くことができる。</li> </ul>

年間校内研修計画

研究テーマ	教科領域	担当	学年	授業時期	T・C 要請
学び合い高め合い 意欲的に学ぶ児童の育成  ～伝え合い交流する～	未定	小野 紀夫	3年	10月	○
	未定	鈴木 奈津美 高田 加奈子 岩下 亜希子 飯室 美華 田邊 博之	1年 2年 4年 5年 6年	9月 から 12月	